

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。教員も保護者のみなさんと同様の内容で学校評価を行いました。児童、保護者双方で課題がみられた項目は「読書」、児童では「家庭学習」「相談」、教員では、「仲良く」「ホームページ」「教育改善」でした。

「読書」「家庭学習」については、先日の富大山田准教授による講演会アンケートの結果をみなさんにお伝えする予定です。「相談」については、休み時間や給食時間の何気ない会話を通して、児童理解を深めるようにします。「仲良く」については、校長指導の下、ソーシャルスキルトレーニングや運動遊びを取り入れ、異学年交流活動を充実し、コミュニケーション能力を育みます。「ホームページ」については、定期の更新を図るよう、担当が管理します。「教育改善」については、夏季休業、2学期中の研修や校内会議を通して日々の教育の改善を図ります。

以下は、学校評価を基に各学年の担任が考えた課題とその克服に向けた取組です。

### 学校評価アンケート(7月)の結果を踏まえた、2学期の取組

学年	課題	課題克服に向けての取組（一部）
1年	<input type="radio"/> いじめを許さない。 <input type="radio"/> 大きな声で挨拶できる。 <input type="radio"/> 家庭学習を進んで行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちくちく言葉をなくそう週間」「ぽかぽかマスター・チャレンジ」等の活動を通して人権意識を高める。</li> <li>・目当てを立て「挨拶名人」を増やす。</li> <li>・カードを活用し、行ったことを賞賛する。</li> </ul>
2年	<input type="radio"/> 子供たちの仲を学級だけでなく学年全体で深める。 <input type="radio"/> 自分の目標を決め、それに向かって取り組もうとする。 <input type="radio"/> いじめを許さない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年集会等で行うイベントや活動を子供たちと考え、実施する。</li> <li>・「1日〇回」「〇ページ」等、具体的な数字を入れた目当てにし、達成したか自分でも分かるようにする。</li> <li>・丁寧な言葉遣い、正しい言葉遣いなど、言語環境を整える。</li> </ul>
3年	<input type="radio"/> 自分から挨拶をする。 <input type="radio"/> 考える力を養う。 <input type="radio"/> 読書に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶レベル表」を作り、挨拶の輪を広げる。</li> <li>・教師が意図的に、子供自身で判断する機会を増やす。</li> <li>・週に1回以上、図書室に行き、本を借りる。</li> </ul>
4年	<input type="radio"/> 学校に来るのが楽しいと感じられるようにする。 <input type="radio"/> 目標をもって学習や活動に参加できるようにする。 <input type="radio"/> 進んで家庭学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が企画するお楽しみ会やスポーツ集会を行う時間を設ける。</li> <li>・行事等の目当てを学年目標と照らし合わせて子供たちで考えたり、リーダーを設け活躍の場を増やしたりする。</li> <li>・工夫して取り組んでいる自主学習ノートをクラスルームに挙げたり、教室や廊下に掲示したりする。</li> </ul>
5年	<input type="radio"/> 進んで家庭学習に取り組む。 <input type="radio"/> 読書習慣を身に付ける。 <input type="radio"/> 考える力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだことの延長としての自主学習を推奨する。</li> <li>・おすすめの本を紹介する機会や場を設ける。</li> <li>・友達の考えを聞いて考えたことを書いたり話したりする機会を増やす。</li> </ul>
6年	<input type="radio"/> 読書に親しむ。 <input type="radio"/> 学校生活がより楽しくなるようにする。 <input type="radio"/> 自分の課題に向け、学習に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書タイムを設けたり、定期的に学級で図書室に本を借りに行ったりする。</li> <li>・行事での役割等、子供たちが活躍できる機会を設ける。また、活躍する姿を掲示し、喜びを共有する。</li> <li>・目標達成で充実感を得られるように、課題の出し方等、教師の支援を工夫する。</li> </ul>

